



阿久根市議会議長 仮屋園 一徳 様

第 7 号	受 付
令和5年8月18日	
陳 情	

令和5年8月18日

開かれた議会への改革を求める陳情

提出者 住 所 阿久根市

氏 名 江口 光雄

陳 情 の 趣 旨

阿久根市議会は今年、ひとり年間63万円もの報酬アップを決めました。私は不景気と増税に苦しむ市民としてこれを受け入れることが出来ません。市議会はかつて、領収書の偽造など、何人もの議員が政務調査費を不正利用したことで全国にその名を知られました。その時の議長は「議員に悪気はなかった」と語り、誰ひとり責任を問うことなく政務調査費を廃止しました。問題に蓋をしたのです。今の議会では、議長が議員のヤジを止めないどころか、ヤジに従い発言者の発言を禁止する。古株議員の「異議なし、異議なし」の大きな声に押されて新人議員が黙る。市長や執行部の答えにならない答弁にも、問題として取り組むことなく放置。これでは何のための議会なのかと悲しくなります。市民代表としての自覚を持ち、透明で効果的な活動を行うよう求めます。

改 革 案

- 1, 議長は議会運営を公正に行い、傍聴人と発言者への不当な警告を慎み、議員のヤジを禁止する
- 2, 市長や執行部の発言に対して厳しく審査して市政の問題点を明らかにする
- 3, 一般質問の議員名、発言予定日、質問案件をポスターと放送で事前公表する